

第46回福島県青少年健全育成推進大会

令和5年11月17日（金）、とうほう・みんなの文化センター小ホールにおいて、100名余りの参加者のもと、第46回福島県青少年健全育成推進大会を実施しました。席上、青少年の健全育成に多大な貢献が認められた団体並びに個人の皆様に対して表彰状の授与を行うとともに、令和5年度「家庭の日」作品募集で最優秀賞に輝いた9名に表彰と副賞の授与が行われました。

また、最優秀賞受賞者の作文発表と「少年の主張福島県大会」の最優秀賞受賞者の作品発表があり、児童生徒の心温まる素晴らしい朗読に参加者が感動している姿が見られました。最後に天栄村青少年健全育成村民会議の黒澤伸一事務局長による大会宣言で幕を閉じました。



あいさつする吉成宣子こども未来局長



知事表彰を受ける
福島大学ボランティアサークル HEARTS 様



福島県青少年育成県民会議会長表彰を受ける
福島市青少年センター補導委員会 紺野律子 様



「大会宣言案」を読み上げる天栄村青少年健全育成村民会議事務局長 黒澤伸一 様

令和5年度 知事表彰及び県民会議会長表彰者（敬称略）

I 福島県青少年健全育成条例に基づく知事表彰

【青少年団体の部】

福島大学ボランティアサークル HEARTS	代表	井関 千尋	二本松市
山都町剣道スポーツ少年団	代表	岩城 雅仁	喜多方市

【青少年育成団体の部】

森合小学区青少年健全育成推進会	会長	阿部 章	福島市
-----------------	----	------	-----

【青少年育成者の部】

齋藤 周夫	庭塚地区青少年健全育成推進会	福島市
小笠原 仁海	福島北地区少年警察ボランティア協会	福島市
近澤 美紀子	二本松地区少年警察ボランティア協会	二本松市
佐藤 ヒロノ	郡山市婦人団体協議会	郡山市
穂積 利弘	薫サッカースポーツ少年団	郡山市
佐藤 勝彦	会津若松市青少年育成市民会議	会津若松市
高橋 明子	喜多方市教育委員会	喜多方市
丹野 吉男	相馬市少年センター	相馬市
横山 隆俊	いわき南地区少年警察ボランティア協会	いわき市

II 福島県青少年育成県民会議会長表彰

【青少年指導者の部】

紺野 律子	福島市青少年センター補導委員会	福島市
渡辺 千春	ボーイスカウト福島連盟	福島市
菅野 平吉	RTTC	伊達市
福嶋 茂	郡山市青少年健全育成推進協議会守山地区協議会	郡山市
佐久間 俊男	行徳ソフトボールスポーツ少年団	郡山市
佐藤 勝男	郡山市青少年健全育成推進協議会守山地区協議会	郡山市
佐藤 修久	郡山市青少年健全育成推進協議会薫地区協議会	郡山市
吉成 賢	郡山市陸上スポーツ少年団	郡山市
加藤 令子	郡山市青少年健全育成推進協議会富久山地区協議会	郡山市
亀山 義範	白河市少年センター	白河市
鈴木 忠行	白河市少年センター	白河市
緑川 摂生	白河市少年センター	白河市
近藤 勝広	白河市少年センター	白河市
永峯 かおり	会津若松市少年センター	会津若松市
昆野 克昭	喜多方市青少年育成熟塩加納地区会議	喜多方市
西 道典	南相馬市少年センター	南相馬市
若月 陽思子	南相馬地区少年警察ボランティア会	南相馬市
馬上 幸彦	いわき南地区少年警察ボランティア協会	いわき市
佐藤 江美	ガールスカウト福島県連盟	いわき市

【青少年団体・青少年育成団体の部】

金谷川地区青少年健全育成推進会	会長	遊佐 哲	福島市
佐倉地区青少年健全育成推進会	会長	佐藤 一弘	福島市
野出島地域活性化プロジェクト	会長	本宮 直	白河市
塙町青少年育成町民会議笹原地区推進協議会	会長	藤田 一男	塙町

【青少年育成市町村民会議の部】

天栄村青少年育成村民会議	会長	添田 勝幸	天栄村
会津坂下町青少年育成町民会議	会長	古川 庄平	会津坂下町

【青少年健全育成功労者の部】

佐藤 栄一	庭塚地区青少年健全育成推進会	福島市
伊藤 國文	郡山市青少年健全育成推進協議会逢瀬地区協議会	郡山市
添田 荘明	郡山市青少年健全育成推進協議会熱海地区協議会	郡山市
砂川 重則	白河地区少年警察ボランティア協会	白河市
栢場 真弓	喜多方地区少年警察ボランティア協会	喜多方市
鈴木 壽子	相馬地区少年警察ボランティア協会	新地町
宮崎 誠志	いわき中央地区少年警察ボランティア協会	いわき市

～令和5年度「家庭の日」作品募集実績～

6月18日から9月4日にかけて、小学生、中学生及び高校生を対象に「家庭の日」作文作品、絵画・ポスター作品を募集したところ、作文部門1,234点、絵画・ポスター部門215点(絵画158点、ポスター57点)の応募がありました。

本年度は、昨年度に比べて中学生の作品応募が増加しました。小学生の作品は作文が増加し、絵画は減少しました。

作文の部は第三次審査会、絵画・ポスターの部は第二次審査会を実施し、入賞作品を選考しました。作文、絵画・ポスター合わせて、最優秀賞9点、優秀賞16点、優良賞47点を決定しました。

最優秀賞受賞者には、11月17日(金)に開催された「令和5年度福島県青少年健全育成推進大会」の席上で福島県こども未来局長から賞状と副賞が授与されました。

なお、最優秀賞及び優秀賞の作文・絵画・ポスター作品は、福島県青少年会館2階に展示しています。

<令和5年度「家庭の日」作品 「最優秀賞」受賞者一覧>

作文部門

橋本 奈寧美	2年	玉川村立玉川第一小学校
佐々木 瑠璃	3年	須賀川市立第二小学校
鈴木 俊汰	5年	いわき市立汐見が丘小学校
三浦 隆星	2年	福島市立北信中学校
高崎 心温	2年	尚志高等学校

絵画・ポスター部門

(絵画作品)

鹿又 悠慎	1年	磐梯町立磐梯第二小学校
佐々木 柊	3年	浪江町立なみえ創成小学校
加藤 綾乃	6年	磐梯町立磐梯第二小学校

(ポスター作品)

阿保 成海	1年	いわき市立平第一中学校
-------	----	-------------

ひいじいちゃんの「もったいね。」

玉川村立玉川第一小学校

二年 橋本 奈寧美



わたしには、九十二さいのひいじいちゃんがあります。「もったいね。」は、ひいじいちゃんのおくぐせです。

わたしは、ひいじいちゃんのいる家にあそびに行くと、いつもおかしをもらいます。もらったおかしやたべものをすこしでもこぼしたり、のこしたりすると、「もったいね。」とおこられます。「ほんのすこしなのに、どうしていつも『もったいね。』と言うのかな。」わたしはひいじいちゃんにきいてみました。

「いつも『もったいね。』って、なんで言うの。」

ひいじいちゃんは、子どものころの話をしてくれました。ひいじいちゃんは、せんそうには行っていないけれど、せんそうのあったじだいを生きてきたそうです。ひいじいちゃんが子どものとき、この玉川村もせんそうのひこうきがなんだいも空をとんでいたそうです。子どもながらにもこわい思いをしたと言っていました。

そのころたべものは、いまのようにいっぱいあったわけではなかったそうです。たべていたものは、イモやたべられる草や木のねっこ。また、木の中にいるような虫やイナゴをたべていたそうです。

わたしは、その話を聞いたとき、「えっ、虫は、いやだ。でも、虫をたべるくらいおなかですいていたんだな。」と思いました。

ひいじいちゃんは、そんな、おなかいっぱいたべれないじだいを生きてきたから、「たべもののたいせつさがわかる。だから、『もったいね。』と言ってしまう。」と話してくれました。

わたしは、その話を聞いて、今よりもたべものをのこさず、すききらいをしないでしっかりたべよう。おなかいっぱいたべれることにかんしゃしようと思いました。

わたしは、きゅうしょくをのこさずたべています。一年生のときは、きゅうしょくを百回いじょうかんしょくしました。二年生になってからも一だものこしていません。きゅうしょくのしょっかんにのこっているものがあると、「もったいないな。」と思います。一人では、たべきれないので、どうしようもないのですが、ひいじいちゃんの「もったいね。」が聞こえるような気がします。

今、ひいじいちゃんは、ベッドでねている日が多くて、前より話をしなくなっちゃったけれど、長生きしてほしいです。

わたしは、これからもひいじいちゃんに教えてもらった「もったいね。」の気持ちを大切にしようと思っています。

【連絡・問い合わせ先】

住所 〒960-8153 福島市黒岩字田部屋53-5(福島県青少年会館内)
TEL 024-546-0002 FAX 024-546-8312
E-mail f-kenminkaigi@fukushima-youth.com/
HP アドレス <http://www.fukushima-youth.com/>